

令和3年度（2021年度）第2回
北海道中山間ふるさと・水と土保全対策委員会 議事概要

日 時：令和4年（2022年）3月23日（水）10：00～11：30

場 所：北海道第二水産ビル5階 5E会議室

出席者：別添「出席者名簿」のとおり

次 第：別添「次第」のとおり

議 題：議題1 第4期事業実施計画（令和2年度～令和6年度）について

議題2 令和4年度事業計画（案）及び事業予算について

議題3 地域活動支援事業 令和4年度（2020年度）活動計画及び令和3年度
（2021年度）完了地区に係る点検・評価報告書について

議題4 その他

議 事：

（1）議題1 第4期事業実施計画（令和2年度～令和6年度）について

ア 事務局から資料3に基づき説明するとともに、「4 事業評価と対応」の「外部有識者の所見」欄について事務局案の確認・修正を依頼。

イ 質疑応答（有・無）

（2）議題2 令和4年度事業計画（案）及び事業予算について

ア 事務局から資料4に基づき説明。

イ 質疑応答（有・無）

小西委員）地域活動支援地区の掘り起こし強化期間とは何か。

事務局）現地研修と合わせて、管内の市町村や普及センター等を訪問し、地域活動支援地区の掘り起こしを積極的に実施するもの。

山本座長）現地研修は、コロナの感染対策を実施した上で、なるべく対面で開催したいとのことだが、地域づくり研修会の開催方法はどうする予定か。

事務局）コロナが続くことも想定されるので、今年度同様オンライン併用を予定しているが、現地研修同様になるべく全道から参集してもらえるような形で開催したい。

山本座長）オンラインを併用することで、各研修の参加率は高くなっているのか。

事務局）地域により差がある。オンライン開催が増えているためか、却ってオフラインでの開催の参加率が高くなっているブロックもある。

（3）議題3 地域活動支援事業 令和4年度（2020年度）活動計画及び令和3年度
（2021年度）完了地区に係る点検・評価報告書について

ア 事務局から資料5及び資料6に基づき説明し、資料6については事務局案の確

認・修正を依頼。

イ 質疑応答 (有・無)

[由仁地区]

山本座長) 中止となった味噌づくりで支出があるのはなぜか。

事務局) 開催に向けて資材等を購入していたが、まん延防止等重点措置の適用期間となり中止としたため。

小西委員) 先進地視察はどこを予定しているのか。

事務局) 道の駅しほろや無想農園を予定しているが、コロナの感染状況次第では石狩管内で視察地域を探すことも検討する。

小西委員) 堀田悠希さんの取組の話は WEAVE のメンバーにとって良い刺激になると思うので、是非、士幌町に行くべき。

山本座長) ここ数年、クリスマスイベントがコロナで開催出来ていないようだが、対面でない(コロナ禍でもできる)イベントも計画してみてはどうか。

[オホーツク地区]

小林委員) 各団体を訪問する現地研修会とは何をするのか。

事務局) 他市町の体験コンテンツを実際に体験し合うもの。

山本座長) 体験型コンテンツ開発に係る意見交換会とは何をするのか。

事務局) ガイドや旅行会社担当者を交えて、団体で取り扱う体験コンテンツを実際に体験してもらい助言等をいただくというもの。

山本座長) 中頓別町のそらや自然学校では、色々な体験コンテンツを提供しているので、話を聞いてみてはどうか。

事務局) 振興局を通じて団体に情報提供したい。

[本別地区]

小林委員) 紹介カードとは、どのようなものか。

事務局) 本別町民の性格や特技を記載したトレーディングカードのようなもの。移住者に、役場で各種手続等のパンフレット渡すのと同じように紹介カードを配ることで、誰が何を得意かなど知ってもらい“受け入れられた感”を得てもらうことが狙い。まずは、おもしろ発見ほら吹きらぼのメンバーから作成し、順次増やしていくとのこと。

山本座長) 街コンイベントとは何か。

事務局) おもしろ発見ほら吹きらぼのメンバーが運営するシェアキッチンを活用して、合コンのような交流機会を作るもの。

[財田地区]

小西委員) この団体は、どのようなメンバーで構成されているのか。農家が大半か。

事務局) 農家がほとんど。

小西委員) 今の時代にパンフレットが適切なのか、SNS や HP の更新は誰がやるのかなど疑問。ステッカーとはどういうものなのか。

事務局) 財田米の販売方法として、統一のステッカーを貼って行おうというもの。地域の子どもたちに食育等を行い、地域への愛着を持ってもらうとともに、そのシンボルとなる財田米の PR を行いたいとの要望がある。

小西委員) 10 年前に本地区のはさかけ米をたべる機会があったが、非常に美味しかった。「米ー1 グランプリ」の優勝者も本地区から出ている。

山本座長) 関連団体に外部の目がないのも気がかり。現状では JA の企画書のような内容に見える。

小西委員) 洞爺湖町は移住者も比較的多かったと思うので、そういう方や飲食店で財田米を使ってもらい、応援団になってもらってはどうか。

小林委員) この辺りは北海道では珍しく「日本の里山」という感じがあるので、そこを大事にした活動方針にした方がよい。

山本座長) 年度が替ったら早々に意見交換に伺いたい。活動の方向性としては悪くないが、そのための取組 1 つ 1 つは改善の余地がある。いきなり実践活動に入るよりも意識醸成期間も取った方が良いのではないか。

小林委員) 財田という狭いエリアで取り組むことは非常に良いと思うが、活動内容が一般的。都市部に来て PR するよりも、洞爺湖町で財田米を積んだ宝船を出す方がメディア等で PR に繋がる。

事務局) 意識醸成期間に戻すことは検討する。意見交換は早々に行えるようにしたい。

[厚床地区]

山本座長) 厚床地区について、小林委員から補足があればお願い。

小林委員) 前年度と今年度はコロナで活動が停滞してしまい、目に見えるような成果は難しいが、地域の繋がりや問題意識の共有は出来てきた。この点について、地域の若い人も期待をしているので、ふる水での支援終了後も継続してもらいたい。これからやっとな地域づくりをスタートするような地域なので、根室市などの担当者にも引き続きサポートしてもらいたい。私も継続して地域に入る。地域の会館整備連合町会の役員だけでなく、幅広い方々の意見を聞いて進めることとなった。

[上ノ国地区]

山本座長) JA の部会が活動団体だが、地元の学校や調理師学校との連携が出来た

のは良かった。食育活動を継続してもらいたい。

(4) その他

ア 事務局から資料7に基づき説明。

イ 質疑応答 (有・無)

山本座長) 講演内容がどのように地域づくりに活かされるか話をしてもらうよう、事前に講師に依頼をしておけば、より充実したものになったと思う。

事務局) 話はしていたつもりだが、うまく伝わっていなかったのかも知れない。

